

10月から新しい看護師さんが着任しました!

10月より朝日診療所で勤務していただく星総合病院の船木結以さんです。船木さんは、高校生の時に祖父が病気になり、「私にも医学的知識や技術があれば、何かできることがあるのではないか」と思い、看護師を目指したそうです。「元々只見町の出身で、高校卒業後、進学や就職で只見町を離れていたのですが、こうして戻ってきた時に覚えていてくれる方が沢山いて、すぐに緊張がほぐれました。只見町の皆さんのために頑張ります。」と話してくれました。



広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 若山 隆



「熱が出たり、風邪症状がある方の受診方法がかわります!」

みなさんこんにちは!冬にむけてすっかり寒くなってきましたね。新型コロナウイルスは依然として流行しており、インフルエンザ感染症も流行する冬季にむけ、引き続き感染予防対策が重要となっております。

国の方針として、これまでのように指定医療機関のみでコロナウイルス検査ができる状況だと、風邪症状がふえる冬季間の診療に対応しきれないため、地域医療を担う一般診療所においてもコロナウイルス検査を行うよう要請が出されました(治療はもちろん指定医療機関で行われます)。そのため、朝日診療所においても、コロナウイルス感染症を検査・診断するための体制を整えることになりました。しかし、高血圧などの定期的な通院をする患者さんなどにコロナウイルスが伝染しないようにするため、受診の仕方がこれまでと大きく変わりますので、今回はそのことについてお知らせいたします。

みなさまにはお願いばかりで大変恐縮ですが、困難を乗り越えるためできる限りご協力のほどどうかよろしくお願いいたします。

お願い	理由
・発熱・風邪症状で受診する際は必ず事前に診療所に電話してから受診して下さい	計画的な対策をとるため、対応できる患者数に限りがある。
・比較的体調がよく重症化の危険も少ない方は翌日受診などをお願いすることもあります	検査に最適なタイミングがある(発症2日以降) 対応できる患者数に限りがある。
・できる限り、患者さんには自家用車で来院・待機頂き、医師の問診などは主に携帯電話などで行います。診察が必要な場合に限り診療所敷地内にある隣接した住宅を臨時診察室として診察や検査を行う予定です。	定期的な通院をする方と、発熱・風邪症状のある方を違う空間で診療するため。 発熱・風邪症状のある方は基本的に診療所に入らないように工夫します。足が不自由など移動が困難な方は配慮します
・会計なども当日は金銭のやり取りがないように、後日会計のみで来院いただくか口座振込などをお願いします	感染機会を減らすため

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊 vol.71 阿部 利浩



「・・・はなくても子は育つ」

皆さんご承知の通り、只見町では町外の生徒が只見高校へ入学する山村教育留学生を受入れしています。最近では、少子高齢化の進んでいる多くの地方自治体で、只見町同様に地域の高校の新生を全国募集する高校が増えており、それらの高校が一堂に会して一緒に生徒募集をする「地域みらい留学」に、只見高校も今年から参画しました。

但し、コロナウイルスの対応のためオンラインでの開催となり、互いに居ながらにしてTV電話のような形で全国の他の学校や生徒父兄と学校や寮の説明をし、質問に答えるという形での参加でした。

只見高校は校長先生のアイデアで生徒が学校をアピールしました。説明資料も生徒が自分たちで作り、自分たちの言葉

で説明しました。生徒たちは参加の声をかけたときには、え〜と渋々引き受けていたのに、2度3度と繰り返すうちに発表が堂々としてくるだけでなく、参加した中学生の保護者への受け答えを、司会に振られる前に自分からしていたりなど、多くの発見がありました。

生徒たちの新しいドアが開く、そんな成長の場面に思いがけず出会えることが出来て、そういう場を準備できて本当に良かったなと思えた時間でした。